

耐震補強基準適合判定システム

資料：旧住宅金融公庫

次の(i)及び(ii)に適合する住宅であること

- (i) 基礎が一体のコンクリート造の布基礎であること
- (ii) 「**ア. 建物の形**」、「**イ. 壁の配置**」、「**ウ. 筋かい等の有無**」及び「**エ. 壁の割合**」を次のとおり評価した評点を相乗した値が1以上であること。

$$\begin{matrix} \text{ア} & \text{イ} & \text{ウ} & \text{エ} & \text{相乗値} \\ \square & \times & \square & \times & \square = \square \geq 1 \end{matrix}$$

なお、「**イ. 壁の配置**」、「**ウ. 筋かい等の有無**」及び「**エ. 壁の割合**」については、1階の壁のみで判定を行う。また、判定に際し半間（約90cm）未満の壁は壁とみなさない。

ア. 建物の形（整形、不整形の評価）

現地もしくは設計図書により形状を確認し、下記により評点を算出する。

（評点）

| 評 価 | 評 点 |
|--------------------------------|-----|
| 整形 | 1.0 |
| 平面的に不整形（注1） | 0.9 |
| 立面的に不整形（注2）オーバーハング50cm超100cm以下 | 0.9 |
| 立面的に不整形（注2）オーバーハング100cm超 | 0.8 |

（注1）1階における入り隅（100cm以下の入り隅は除く。）が4箇所以上ある場合は不整形とする。
ただし、入り隅が4箇所以上あってもほぼ対称形であれば不整形としない。
（注2）オーバーハング（バルコニーを除く。）がある場合を指す。

イ. 壁の配置（壁のバランスの評価）

外壁面に対する壁の割合を面ごとに算出し4面のうち最も低い評価結果の面に基づき評点を算出する

（評点）

| 評 価 | 壁の割合 | 評 点 |
|-----------------|-------|-----|
| つりあいのよい配置 | 0.2以上 | 1.0 |
| 外壁の一面の1/5未満 | 0.2未満 | 0.9 |
| 外壁の一面に壁がない（全開口） | 0 | 0.7 |

（計算式）

$$\begin{aligned} \text{東面} &= \frac{\text{開口部を除く壁の長さ}}{\text{外壁面の長さの合計}} = \\ \text{西面} &= \frac{\text{開口部を除く壁の長さ}}{\text{外壁面の長さの合計}} = \\ \text{南面} &= \frac{\text{開口部を除く壁の長さ}}{\text{外壁面の長さの合計}} = \\ \text{北面} &= \frac{\text{開口部を除く壁の長さ}}{\text{外壁面の長さの合計}} = \end{aligned}$$

ウ. 筋かい等の有無（壁の強度の評価）

(1) 在来木造住宅の場合

壁の筋かい等（構造用合板、ブレース等による強度を含む。）の有無を判定し、下記により評価を算出する。

（評点）

$$\frac{(\text{筋かい等のある壁の長さの合計} \times 1.5) + (\text{筋かい等のない壁の長さの合計} \times 1.0)}{\text{筋かい等のある壁の長さの合計} + \text{筋かい等のない壁の長さの合計}} = \square \text{ 評点}$$

（計算式）

$$\text{筋かい等のある壁の長さの合計 X軸方向+Y軸方向} = \quad + \quad = \quad \text{[m]}$$

$$\text{筋かい等のない壁の長さの合計 X軸方向+Y軸方向} = \quad + \quad = \quad \text{[m]}$$

エ. 壁の割合（必要壁量に対する充足率の評価）

X軸方向、Y軸方向の「単位面積あたりの壁の長さ」（壁の長さの合計/1階部分の床面積）のうち小さい方の値を下表の「必要壁量」で割った値の評価結果を評点とする。

（計算式） a

$$\text{X軸方向の単位面積あたりの壁の長さ} = \frac{\text{X軸方向の壁の長さの合計 [m]}}{\text{1階部分の床面積 [m}^2\text{]}} =$$

$$\text{Y軸方向の単位面積あたりの壁の長さ} = \frac{\text{Y軸方向の壁の長さの合計 [m]}}{\text{1階部分の床面積 [m}^2\text{]}} =$$

（計算式） b

$$\frac{\text{方向別の単位面積あたりの壁の長さ}}{\text{下表による必要壁量}} = \text{評価値}$$

必要壁量

| | 平 屋 | 2階建 | 3階建 |
|-----------------------|------|------|------|
| 軽い屋根（鉄板葺、石綿板葺、スレート葺等） | 0.11 | 0.29 | 0.46 |
| 重い屋根（かや葺、瓦葺等） | 0.15 | 0.33 | 0.50 |

（計算式） c 下表により、上で求めた評価値の該当する区分を評点とする。

（評点）

| 評 価 値 | 評 点 |
|------------|-----|
| 1.8以上 | 1.5 |
| 1.2以上1.8未満 | 1.2 |
| 0.8以上1.2未満 | 1.0 |
| 0.5以上0.8未満 | 0.7 |
| 0.3以上0.5未満 | 0.5 |
| 0.3未満 | 0.3 |